

富津市社会教育委員会議会議録

1	会議の名称	平成22年度第1回富津市社会教育委員会議
2	開催日時	平成22年 6月18日 午後 3時00分～午後 4時30分
3	開催場所	中央公民館多目的室
4	審議等事項	(1) 第11回富津市生涯学習推進大会への提案 について
5	出席者名	(委員) 小泉清治、黒岩功充、三富和彦、小曾根 勝己、柳川通雄、平野武男、渡邊秀夫、十川敬三、 佐久間勇、大野裕二、平山悟、綾部雅喜 (事務局) 渡辺教育長、山中教育部次長、春木生 涯学習課長、進藤生涯学習課主幹、小川主事、羽 山非常勤一般職、石井光一社会教育指導員、磯貝 順子家庭教育指導員
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ <input type="radio"/> 一部非公開 ・ <input type="radio"/> 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	0 人 (定員 5人)
9	所管課	教育部 生涯学習課 社会教育係 電話 80-1345
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

第1回 富津市社会教育委員会会議録

発言者	発言内容
(事務局) 進藤主幹	<p>それでは、定刻となったので、始めさせていただきます。本日出席予定の十川委員と木村委員は、仕事等の関係で少し遅れるとの連絡があったため、始めさせていただきます。</p>
(事務局) 進藤主幹	<p>(本日の会議が、委員定数15名のうち、出席11名、欠席4名のため会議は成立することを説明。平成22年度第1回富津市社会教育委員会会議の開会を宣言)</p>
(委員長) 小泉委員長	<p>(小泉委員長挨拶)</p>
(事務局) 渡辺教育長	<p>(渡辺教育長挨拶)</p>
(事務局) 進藤主幹	<p>(会議資料の確認)</p>
(事務局) 進藤主幹	<p>続いて、会議の公開について、富津市情報公開条例により本会議は公開となるため、会議録を確定する必要がある。のちほど、議題に入る前に会議録署名人2名を選出していただきたい。</p>
(事務局) 進藤主幹	<p>これよりの議事の進行は、小泉委員長によろしく願いたい。</p>
(議長) 小泉委員長	<p>議題に入る前に、本日の議事録署名人についてであるが、私と三富委員でよろしいか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
(議長) 小泉委員長	<p>それでは、議事録署名人は、私と三富委員に決定する。</p>
(事務局) 春木課長	<p>続いて、会議次第の4報告に移る。(1)富津市社会教育委員の変更について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
(事務局) 春木課長	<p>富津市社会教育委員の変更について報告する。今回は6名が変更となっている。新しい委員のお名前を読み上げる。まず、青少年相談員連絡協議会代表の小曾根勝己さん。次に、富津市PTA連絡協議会代表の柳川通雄さん。富津市老人クラブ連合会代表の平野武男</p>

<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>さん。続いて、富津市区長会代表の渡邊秀夫さん。学識経験者ということで、富津市議会議員代表の十川敬三さんと大野裕二さん。あわせて6名である。以上で報告を終わる。</p> <p>委員の変更についての報告があったが、ここで委員と事務局の紹介を行いたい。</p>														
<p>(事務局) 進藤主幹</p>	<p>(社会教育委員の紹介) 事務局については、次長から紹介する。</p>														
<p>(事務局) 山中次長</p>	<p>(事務局の紹介)</p>														
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>次に報告の(2)平成22年度富津市社会教育事業等について、事務局から報告をお願いしたい。</p>														
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>それでは、私から平成22年度富津市社会教育事業について報告する。</p> <p>(以下、会議資料「平成22年度富津市社会教育事業について」により説明。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 ページから 4 ページ</td> <td>社会教育事業について</td> </tr> <tr> <td>5 ページ</td> <td>文化事業</td> </tr> <tr> <td>6 ページ</td> <td>社会体育事業</td> </tr> <tr> <td>7・8 ページ</td> <td>富津市の学校教育</td> </tr> <tr> <td>9・10 ページ</td> <td>生涯学習課事務分担表</td> </tr> <tr> <td>11・12 ページ</td> <td>体育振興課事務分担表</td> </tr> <tr> <td>13 から 19 ページ</td> <td>平成22年度教育費当初予算抜粋)</td> </tr> </table>	1 ページから 4 ページ	社会教育事業について	5 ページ	文化事業	6 ページ	社会体育事業	7・8 ページ	富津市の学校教育	9・10 ページ	生涯学習課事務分担表	11・12 ページ	体育振興課事務分担表	13 から 19 ページ	平成22年度教育費当初予算抜粋)
1 ページから 4 ページ	社会教育事業について														
5 ページ	文化事業														
6 ページ	社会体育事業														
7・8 ページ	富津市の学校教育														
9・10 ページ	生涯学習課事務分担表														
11・12 ページ	体育振興課事務分担表														
13 から 19 ページ	平成22年度教育費当初予算抜粋)														
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>今、事務局から説明があったが、何か質問はあるか。</p>														
<p>(事務局) 山中次長</p>	<p>訂正をお願いしたい。6 ページの上から6 行目と7 行目に、県民の日記念スポーツ大会でバドミントンとグラウンドゴルフとあるが、これは日にちが逆になっている。訂正をお願いしたい。</p>														

	<p>もう一つ、その上の行でF T S 杯争奪少年柔剣道大会となっており、日にちが6月6日とあるが、6月6日と13日に行ったので、13日を追加していただきたい。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>いくつか訂正があったがよろしいか。 社会教育事業の説明があったが、資料にあるように多岐にわたる行事が行われている。どんなことでもかまわないので、質問があればお願いしたい。</p>
<p>綾部委員</p>	<p>生涯学習バスが委託になったということで、前々から問題になっていた土日の利用が可能になったのは非常によいことだと思うが、利用時間や料金に変更はあったのか。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>利用時間については、大きな変化はない。午前8時30分に車庫を出発し、車の掃除等もあるので、午後5時に車庫へ帰着することとなっている。先ほども言ったが、月曜日についてはいろいろな施設が休館なので、バスも月曜日を運休日としている。その代わり日曜は利用できるようになった。 利用料金については、無料である。</p>
<p>綾部委員</p>	<p>時間外の利用はどうなるのか。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>渋滞などにより、やむを得ない場合は、業者と調整している。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>他に何かあるか。</p>
<p>黒岩委員</p>	<p>21ページに生涯学習推進大会の履歴の表があり、第11回の部分が空欄になっているが、講師の目安は立っているのか。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>その件については、議題にあるので、議題に入ったらお話ししたい。</p>

柳川委員	<p>16ページのまちづくり交付金事業費の中にある、青堀駅自由通路床サイン陶板製造事業とはどういうものか。</p>
(事務局) 春木課長	<p>富津市にはいろいろな古墳や文化財があり、しかも南関東最大の古墳である内裏塚古墳があるので、そういったものを観光客に紹介するために、道路に案内の陶板を埋め込んだり、その他にも看板を作成したりしている。</p>
渡邊委員	<p>16ページの古墳案内人育成支援事業について、委託料が400,000円となっているが、どんなことをやっているのか、また、案内人はどれぐらいいるのかを知りたい。</p>
(事務局) 春木課長	<p>育成事業の中には、多少消耗品も含まれている。育成した方たちが案内をしやすいように、看板を設置することもしている。</p> <p>去年は育成の部分ができなかったが、その前の年は20人くらいが講習に参加し、担当の小澤が講師となって、一緒に歩いて講習を行った。</p>
佐久間委員	<p>(5ページ、まちづくり交付金事業の)ガイドボランティアは、何名が育成されて、どのように周知し、どのように応募しているのか。</p>
(事務局) 春木課長	<p>ガイドボランティアというのは、先ほどの古墳案内人のことで、今のところ20人くらいである。</p>
佐久間委員	<p>例えば、ガイドボランティアを希望する人はどのようにして応募するのか。</p>
(事務局) 春木課長	<p>公民館の講座として応募を募り、一去年は20人くらいの応募があった。その講座は年に数回あり、実習も兼ねている。そして、実際に案内を希望する団体があった時に、その方たちも一緒に参加してもらっている。</p> <p>ただ、今のところ、全くのボランティアであるので、少しやり方を変えていかなくてはならないと考えている。</p>

<p>(事務局) 山中次長</p>	<p>このまちづくり交付金事業は青堀駅周辺で行っているが、その主たる目的は、古墳を生かした街づくりである。先ほど春木課長が言ったように、青堀駅周辺には南関東最大規模を誇る内裏塚古墳がある。その古墳の案内をするガイドボランティアの育成を事業に掲げている。平成18年度から22年度の五ヶ年で、3名のガイドボランティアを育成しなければならないという目標が掲げられている。そのため、平成18年の3月ごろに、当時富津公民館にいた小澤係長が、まず関係者をガイドボランティアとして養成することにした。人数は20人くらいで、年齢は30代から80代まで、50・60代が中心である。</p> <p>この講座では、教室での講義や現地での研修が行われ、今では5名くらいが観光客の案内をできるようになった。</p> <p>また周知については、1、2年前に広報等で周知したが、今後教育かわら版などいろいろな形でガイドボランティアの周知や募集をしていきたいと考えている。</p>
<p>佐久間委員</p>	<p>よく観光地に行くと、市が窓口となって、団体にガイドボランティアをつけてくれるという話を聞く。マップを片手に一緒に歩いて、古墳の説明をしてくれるということだと思うが、それをもっと拡大していけば、観光にもつながってくるし、古墳が生かせると思うので、もっと発展させていってほしい。</p>
<p>(事務局) 山中次長</p>	<p>今、建設部でまちづくり交付金事業として、青堀駅東口に多目的の部屋を作っており、その一角にガイドボランティアが待機する部屋を設ける予定になっている。そのため、よりガイドボランティアが案内しやすい環境になると思う。</p>
<p>三富委員</p>	<p>昨年まで飯野小にいたが、あの周辺は本当に古墳がたくさんある。栃木の北の方の町で火祭りというものをやっており、そこでは子どもたちの参加もあり、観光客が10万人来るそうである。</p> <p>やはり、富津市の古墳の素晴らしさは、公共の交通機関である青堀駅のすぐ近くにあるということなので、その利点をうまく使った企画ができるのではないかな。</p>

<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>飯野小学校の教室を、文化財のミニ展示室のようにできないかということで、下準備をしているところである。古墳めぐりのコースの途中で小学校に立ち寄ると、展示物やその説明を見ることができたり、雨宿りをすることができたりというようなことが可能かどうかを考えている。</p>
<p>佐久間委員</p>	<p>古墳の数については、確かにマップに明示されているが、所有権がどこにあるのか、また、古墳からどのようなものが出たのかなど、古墳の実態を分かれば教えていただきたい。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>古墳について簡単に書いたものが古墳マップで、それよりも細かく書いたものは資料としてはあるが、内容が難しい。簡単なものと難しいものとの中間がない。</p> <p>文化財審議会という審議会があるので、こういった話が出たという話はするが、よろしければ個人的に対応したい。</p>
<p>佐久間委員</p>	<p>観光客の目線で見ると、これが古墳だと言われても、ただの山に見えてしまう。富津中学校の近くにも山がいくつかできているが、あれも古墳なのかと思うくらい、残土の山ができています。そういった山と古墳との違いがよく分からない。それがどんな古墳で、何が出てきたかなど、古墳の実態を分かるようにすることが必要だと思う。</p> <p>入りやすいように通路を作ったり、草木を刈ったりするのはもちろん必要だが、どういう古墳なのかという実態がわかるように、資料を作成したり、ガイドボランティアが説明をするなど、古墳を生かせるようにしていただきたいと思う。</p>
<p>十川委員</p>	<p>6ページの社会体育事業について、行事の予定が4月から順に記載されている。秋にあるスポーツフェスタの日程が未定なのは分かるが、教育長杯争奪のサッカー大会の日程がこの順番だともう終わっているはずなのに未定になっているのはなぜか。</p>
<p>(事務局) 山中次長</p>	<p>先日、サッカー協会から連絡があった。当初は6月に実施する予定だったが、県に行く強いチームが数チームあり、日程が合わない</p>

	<p>ということで、6月25日にサッカー協会の代表者が集まって今後の日程を決めることになった。昨年もそうだったが、市内の数チームが県まで行ける登録をしてあるため、たまたま強いチームがいると日にちが重なってしまい決まらなくなる。そのため、今も未定である。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>古墳についての質問が多かったようだが、関心のある事案だと思う。</p> <p>青少年相談員やPTAなどは毎年予算のカットが続いているが、事業を進める上でどうか。</p>
<p>小曾根委員</p>	<p>青少年相談員で補助金をいただいているが、昨年よりカットになってしまったので、資料作成をする際に市役所の印刷機を使用させていただければ、経費節約になると考えるが、そういった協力はいただけるのか。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>ものすごい量の印刷となると協議しなければならないが、今までやってきた事業の範疇であれば、対応は可能である。</p>
<p>(事務局) 山中次長</p>	<p>それは、輪転機でよいのか。</p>
<p>小曾根委員</p>	<p>構わない。</p>
<p>(事務局) 山中次長</p>	<p>それならば、十分可能である。</p>
<p>佐久間委員</p>	<p>社会教育ではなく、学校教育の話になってしまうが、長欠児童や不登校の児童はどれくらいいるのか。</p>
<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>今、データは持っていないが、長欠や不登校の子どもがおり、それが大きな課題であることは変わらない。ただし、数年前から比べると、ほぼ半減していると言っていい。</p> <p>中央公民館の中にも、不登校の子どもたちと学校の橋渡しをする</p>

	<p>教室があり、学校と連携しながら、少しずつ学校に行きやすいような環境を整えている。あるいは、学校の中にもスクールカウンセラーがおり、悩みを聞いて相談に乗る体制が徐々に整っている。</p> <p>いろいろな形のものが、少しずつうまく機能し始めて、減ってはいるが、ゼロにはならない。できる限りゼロに近づけていきたい。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>つづいて、会議次第の5議題(1)第11回富津市生涯学習推進大会への提案について、事務局からの説明を求める。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>(会議資料により説明。 20・21ページ 第11回富津市生涯学習大会への提案) 今年度は2月6日に行う予定になっている。現時点でオープニングや講師などについて御意見があればお願いしたい。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>説明があったが、このことについて御意見があればお願いしたい。</p>
<p>大野委員</p>	<p>先程、黒岩委員から質問があったが、今現在講師の目星はついていいのか。また、今までの講師を見ると多岐に渡っているが、どういった経緯で決められたのか、もし分かれば聞きたい。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>まず、講師の目星についてだが、講師派遣会社に登録されている講師が中心になる。市民憲章推進協議会との共催事業であるので、予算は市民憲章推進協議会と生涯学習課とで半分ずつ負担している。昨年は約200,000円であったが、最高限度は300,000円くらいである。その金額の中で、生涯学習に適した講師を講師派遣会社にリストアップしてもらっている。それを生涯学習推進協議会に諮り、候補を数名出してもらい、交渉をするという形が多い。</p> <p>今年度も、基本的にはまだ決まっていない。1件、良い人がいるという紹介があったが、まだ生涯学習推進協議会を開催していないので、本日の御意見も含めて報告したい。</p>

黒岩委員	<p>以前、中央公民館で、NHKの野球解説者で木更津中央高校出身の与田剛さんの講演を聞いた。野球の話をするものだと思っていたが、男性の子育てについての講演でカルチャーショックを受けた。</p> <p>この間、誰の紹介だったかを聞いたところ、恩師である三富先生の紹介であると分かり、驚いた。今年とは言わないが、もし機会があるなら、三富先生を通じてお願いしたらどうか。</p>
三富委員	<p>私は、与田君が3年生の時に学担をやっていたので、その関係でお願いしたが、今回は難しいかもしれない。</p>
大野委員	<p>誰を講師にということではないが、過去の講師の方々を見たり、いろいろなところで話を聞いていると、人が集まらないことをすごく気にすると思う。しかし、これは個人的な考えだが、人集めよりも内容をしっかりするほうが良いと思う。ただ人集めのために講師を呼ぶのなら、講演の意義がない。無名かもしれないが、その世界で実績のある方などを呼び、テーマを決めてそれに沿って行うほうが良いと思う。せつかく、お金を使って行う事業なので、たとえ2、300人しか来なかったとしても、来場者に良かったと思ってもらうことが大事だと思う。そういった視点で考えていただければ良いのではないかと私は思う。</p>
(議長) 小泉委員長	<p>去年は、小泉武夫さんの講演で、非常に人気があった。前段のオープニングなどが終わった後、講演の前にぞろぞろと来場者が来た。今、大野委員からあったように、数にはこだわらないで、皆さんの身になるような良い講演をしていただければと思う。</p>
十川委員	<p>今、千葉国際でバスケットを教えている、鈴木義高先生という方がいる。市立船橋を全国区にした方で、先生が千葉国際に来てすぐに、千葉国際はインターハイで準優勝した。やはり、中学校や高校は指導者によってすごく違ってくる。身近にそういった素晴らしい指導者がいるので、その話を聞くのも面白いのではないか。</p>
(議長) 小泉委員長	<p>今、2名の方のお名前が出ているので、会議の席で意見として出したい。他にあるか。</p>

綾部委員	<p>今日、PTA代表の方と、学校長代表の方がみえているが、各小中学校のPTAの講演会でも、いろいろなところから講師の方を呼んでおり、反響を呼ぶ講演もあると聞いている。そういった集まりがあったら、候補を挙げてもらうと良いのではないか。年齢層で言うと、今は高齢者の方の割合が多いので、もう少し若い方に来てもらえるようにすれば良いのではないか。</p>
佐久間委員	<p>誰を講師に呼ぶかよりも、どういう講演を聞きたいかという視点から考えるのが良いのではないか。例えば、お笑い芸人などを呼んで、楽しい時間を過ごせるような内容にするのか、あるいは、旬の話題で勉強になることを内容にするのか、いろいろな方向性があると思うが、それを絞ってから、人選をしたほうが良いと思う。</p>
柳川委員	<p>先ほど、綾部委員からお話があったように、各小中学校のPTAでは家庭教育学級をやっており、生涯学習課にその報告をするが、内容についてはあまり知られていないのではないかと思う。その中には、とても良い講演がある。私は天羽中学校のPTAに所属しているが、去年、勝又稔先生という、以前に校長先生をやっていた方をお呼びして、学校を建て直したという内容の講演を行った。アンケートを取った結果、父兄の方から非常に良かったという話をいただいた。</p> <p>今年は、トリノパラリンピックのスラロームで5位に入賞した、アルペンスキー選手の三沢拓さんの講演を7月6日に行うということである。今回家庭教育学級で講演をお願いして、また何年後かに推進大会でこういう方をお願いするというのも一つの案だと思うので、連携を取っていただけたら良いのではないかと思う。</p>
(議長) 小泉委員長	<p>他に意見はあるか。 ないようなので、6その他に移るが、何かあるか。</p>
(事務局) 春木課長	<p>「富津市社会教育委員及び君津地方連絡協議会・千葉県社会教育委員連絡協議会の会議等の日程表」がお手元にあるかと思うが、日程が許せば、そこにある会議等に参加いただければと思う。 (以下、日程表により説明。)</p>

<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>その他に何かあるか。</p>
<p>平野委員</p>	<p>耐震のことについて、お聞きしたい。私は湊に住んでいて、天羽中学校を作る時にはPTAをやっていたが、建設してから相当年月が経っている。最近地震が多いので、各小中学校の耐震診断を教育委員会でやっていると思うが、もし分かったら、各学校の耐震強度を教えていただきたい。</p>
<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>今、データを持っていないので、詳しいお話はできないが、昨日付で市内の各学校長宛に、全学校の耐震診断の結果と今後の工事等の予定についての文書を出してある。細かいことであれば、学校に問い合わせただけで分かります。</p> <p>天羽中学校については、今年度は体育館の耐震の工事をしていくことになっている。子どもたちが夏休みになる時期を中心にできれば良いが、いろいろな大会などの関係もある。天羽中学校の体育館は10月頃を着工の目処として、今年度中には工事が終わる予定である。</p>
<p>平野委員</p>	<p>一昨年、富津中学校が21億をかけて立派な校舎になったが、大佐和、天羽は古い校舎のままである。天羽中学校は今年やってくれるそうだが、もし地震があった場合を考えると、21億もかける予算があるのなら、3地区にもっと目を向けてもらいたい。そういった声が出ている。同じ生徒であっても、ああいった立派な校舎を利用できる生徒とそうでない生徒がいる。これからは、3地区が対等であるようにしていただきたいと思う。</p>
<p>(事務局) 山中次長</p>	<p>今、教育長が耐震について話したが、教育委員会では教育かわら版というものを年に3回から4回発行している。その7月号で、話のあった市内の各小中学校の耐震診断結果について掲載する予定である。各戸配布するので、そちらを御覧になっていただきたい。</p> <p>また、国体の関係でお話をさせていただきたい。千葉県で37年ぶりに「ゆめ半島千葉国体」が開催される。先ほどお話ししたように、富津市では市民ふれあい公園臨海野球場で、9月26日から2</p>

9日まで、27日を予備日として、26、28、29日の3日間で7試合が行われる。軟式野球は高校野球ほど人気がない。昨年、新潟に軟式野球競技の視察に行ったが、他県のチームの試合では閑古鳥が鳴くような感じで試合が行われている。そのため、啓発活動を行っているが、観客が少ないということで、市内の小中学校にバスを出して応援の依頼をしている。今日は子ども会や青少年相談員などの代表の方が来ているので、お時間が少しでもあったら、ぜひ9月26、28、29日に市民ふれあい公園臨海野球場へ足を運んでいただき、観戦していただくようお願いしたい。

またその他に、ホームページや市の広報で国体のボランティアを募集している。今のところ、29名の応募がある。ボランティアの方には、会場の案内、駐車場の整理などの仕事があるので、できる方がいれば協力をお願いしたい。

(事務局)
進藤主幹

お手元に配布してある社会教育委員名簿を御覧いただきたい。十川委員がいらしたので、紹介したい。

十川委員

(十川委員挨拶)

(事務局)
進藤主幹

その他に、本日欠席の小泉とき委員、高橋栄二委員と、遅れて出席する予定であった木村忍委員がおり、合計15名で社会教育委員会議を進めていくこととなるので、よろしくようお願いしたい。

また、社会教育委員の条例、規則と社会教育法を資料に添付してあるので、後ほど御覧いただきたい。

その他、君津地方社会教育委員連絡協議会の理事に、小泉委員長、黒岩副委員長、佐久間委員が選出されているので報告する。

(事務局)
春木課長

千葉県社会教育委員連絡協議会の監事に小泉委員長が選出されているので報告する。

(議長)
小泉委員長

他に何かあるか。

<p>綾部委員</p>	<p>今、佐貫地区で、子育てができないために人口が流出しており、学童保育設立の準備を進めているという話を聞いた。その進捗状況を、簡単で構わないので教えていただきたい。</p>
<p>(事務局) 渡辺教育長</p>	<p>これは教育委員会ではなく、健康福祉部の行っている事業である。教育委員会は、学校施設を貸与するという部分で間接的に関わっているので、正確な情報ではないことを含んでお聞きいただきたい。子どもを預けたいという母親の数と指導員の数がようやく整ったようで、間もなく学童保育を始められそうだという話を聞いた。</p>
<p>(事務局) 山中次長</p>	<p>5月の半ば過ぎに学童保育の代表の方から、庶務課に学校の使用許可の申請があった。許可はすぐに出したので、指導員等の体制を整えばできると思う。</p>
<p>綾部委員</p>	<p>了解した。また、始まってからも、バックアップをしていただきたいと思う。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>その他に何かあるか。 ないようなので、司会を事務局へお返しする。</p>
<p>(事務局) 進藤主幹</p>	<p>(第1回富津市社会教育委員会議の閉会を宣言)</p>